

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要				根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~				
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問 担当課(室) 商工観光課 職・氏名 観光係長 金藤 康樹 合先 電話 64-1832(274) このシート作成に要した時間 5.0 時間
	中項目	基本施策	03	個性あふれる観光のまちづくり	
	小項目	施策	01	観光	
事務事業名				04	観光施設維持管理事業

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	市内の観光施設を管理する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者数の増を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
関谷学校駐車場等管理事業	観光客に対して利便性を目的に設置した駐車場、緑地部分の維持管理等。		
伊部駅南ふもと交流センター管理運営事業	伊部駅南ふもと交流センターの維持管理を行う備前市観光協会に対する指定管理料。		
大滝山上下水道管理組合負担金事業	大滝山福生寺の水道・電気を管理する組合に負担(福寿院、西方院、実相院、備前市)		
観光施設・看板等修繕	観光施設、観光看板の修繕業務。		
交通安全施設設置業務	頭島外輪、大多府島宮ノ下、鹿久居島まほろば海水浴場の3箇所に設置し、観光客、地域住民に安心して楽しんでもらえる海水浴場に整備。		
古代体験の郷まほろば管理運営事業	施設の管理運営事業。古代の体験ができる施設で観光振興、青少年の健全育成を図る。		
日生観光情報センターサンパース管理運営事業	施設の管理運営事業。日生の観光情報の窓口として、観光客、地域住民に配信する。		
ふれあいの館がげまち管理運営事業	施設の管理運営事業。大多府島唯一の簡易宿泊施設で、地域で管理運営していただくことで、都市住民と地元住民との交流を図る。		
ふれあい交流館おまち管理運営事業	施設の管理運営事業。頭島の定期船待合所及び集会所施設で、観光客と地域住民の交流を深めることにより、観光振興を図る。		
楯越山管理業務	楯越山の観光トイレの清掃及び木文字の草刈り等で、施設をきれいにすることで訪れる観光客等によりイメージを持っていただくよう整備する。		
観光トイレ等管理業務	日生地域にある観光トイレをきれいにすることで、訪れる観光客等によりイメージを持っていただくよう整備する。		
郷土料理館もやい茶屋管理運営事業	日生の郷館を中心に古くから育まれた郷土料理を観光客、地元の人々に広く知ってもらい、観光振興に寄与する。		
吉永観光案内所管理運営事業	観光客等の情報提供の場とし、観光の振興を図ることを目的とし設置された観光案内所の維持管理。		
八塔寺ふるさと村民族資料館管理運営事業	昭和初期に使用されていた、庶民生活資料や農具等の展示施設で、八塔寺ふるさと村来訪者に、自由に見学していただいている。		
八塔寺ふるさと館管理運営事業	地域における都市住民との交流、過疎からの脱却及び所得の向上を図ることを目的として設置されたふるさと館の管理運営を行う		
大池緑地公園管理事業	関谷学校を訪れる観光客と地域住民の憩いと交流の場として設置された大池緑地公園の維持管理。		
和意谷管理事業	観光客等の利便性の向上を図ることを目的とした、参道及び墓所の草刈り及び倒木除去等の維持管理。		
八塔寺ふるさと村等管理事業	八塔寺ふるさと村の優れた農村景観を保存するための維持管理。		
ダム公園等管理事業	水と緑のやすらぎを主要テーマに住民の憩いの場として、また観光地として地域活性化に寄与することを目的とし設置された八塔寺川ダム公園等の維持管理		
八塔寺山荘管理事業	市の観光の振興を図るため、宿泊施設として設置された八塔寺山荘の維持管理。		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
一施設当たり利用者数	目標値(A)	18,000	18,000	18,000	18,000
	実績値(B)	19,162	16,661	16,128	到達目標値
	達成率(B/A)	106.46%	92.56%	89.60%	毎年度

成果指標設定の考え方・式や説明
利用者数 / 管理施設数 (13)

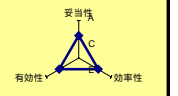
事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	費用対効果を考慮しながら、施設の維持管理に努めるべきである					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		57,052	55,095	61,037	
	必要人員(人件費)	千円	0.85人	7,565	1.22人	8,347
	事業費		64,617	63,442	69,749	
	国県支出金		3,584	4,334	3,584	
	受益者負担		33,843	27,781	26,969	
	繰入金	千円		705		
その他(償)			41		12	
一般財源			27,190	30,581	39,184	
受益者負担比率	%		52.4%	43.8%	38.7%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
利用者数	説明					
結果指標	結果指標量	事業	249,102	216,598	209,664	
	対前年比	%	87.0%		96.8%	
	活動コスト	円	64,617,000	61,401,000	69,360,000	
単位当たりコスト			259	283	331	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
観光施設の適正な維持管理は、観光推進の上で重要なことである。観光客の満足度も考慮しながら、費用対効果による効率的な管理運営を行う必要がある。	評価区分 <A~E>	C



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	費用対効果を検証しながら施設の維持管理に努めるべきである。					

Action